

主婦権と個人条件及び母子関係

日本女子体育短大 末広 和子

1 主婦権と個人条件

調査項目として 1. 本人の気質, 2. 信仰, 3. 民主的  
態度, 計 10 項目をあげた,

結果, 大都市では, 本人の気質が主婦権と関係深く,  
無答者(気質の自己評価が困難なもの)極度の他人依存  
的, 感情的, 外出嫌い, のんきな場合は, この順に低  
点者に多くあらわれている。農村では気質は問題なく,  
女子の教育及び結婚の条件に対する民主的態度が主婦権確  
立に有意な要因となっている。

2 主婦権と母子関係

調査項目として 1. 主として, 幼児期における緊張  
要素, 2. 青少年期における緊張要因, 3. 緊張解決の方  
法, 4. 母の民主的態度, 計 10 項目を設定した。

結果, いずれの地域でも主婦権と有意な関係をもつも  
のは, 子供の方法, 感情, 反抗的態度, ひねくれ, 話し  
合いであり, 主婦権の高い場合は, これらに就ての緊張  
がなく, 他人の手前を意識しない態度の母が高点者に多  
く出ている。地域差のあらわれているものとして, 農村  
の兄弟げんか大都市における解決方法, 家庭での勉強等  
があげられる。

以上の 4 報告を総括すれば, 主婦権に最も関連の深い  
のは主婦権の内容諸項目は勿論, 間接的要因として経済  
的諸条件及び家族関係があげられ, 主婦権の実体が都  
市, 農村で異っている事がわかった。